

# みんなでチャレンジ！ 農業体験

町内の各小学校では、農業体験事業の一環として、草花栽培や農作物を育て収穫する活動を行っています。今回は、貴重な体験をした児童の感想をご紹介します。

【問合せ先】学校教育課 ☎029-240-7121 (直通)

## 「マワリとホウセンカを育てたよ」

長岡小学校 三年一組  
中村友翔



ぼくは、ヒマワリとホウセンカを育てました。たねをまいたとき、すくすく育ってほしいと思いましたが、そこでヒマワリとホウセンカのかんざつカードを書くことにしました。



七月にはヒマワリが、ぼくより大きくなりました。今はかれてしまったけれど、たねがたくさんとれました。ホウセンカは、花がいっぱい咲きました。

そのあともつぼみがどんどんできて、今も花がきれいにさいています。来年もヒマワリとホウセンカを大切に育てたいと思います。

## 思い出のトウモロコシ

大戸小学校 五年一組  
雨ヶ谷 香太郎



僕たち五年生は、七月四日にトウモロコシの収穫体験に参加しました。まず、JAの方のお話を聞きました。次に、収穫体験を行いました。JAの方が「回してとるといいよ」と、丁寧に教えてくれたことを思い出しています。トウモロコシを回してみると弱い力で収穫することができました。



僕は、「簡単にとれたー」と、うれしくなりました。僕は、その勢いで六本の大きいトウモロコシをとりました。帰宅してから、収穫したトウモロコシをゆでて食べました。特に、白いトウモロコシがとてもおいしかったです。コロナでいろいろな行事がある中、地域の方との思い出に残る体験でした。ありがとうございました。

## お米の大切さ

青葉小学校 五年二組  
荻谷 理李



わたしは、ただの白いお米が好きです。おかずなしでも食べられます。そのお米の稲かりをして思ったことがあります。わたしたちはバケツで米作りをしたけれど、農家の人たちは田んぼでやっています。台風などが来て大変なことがあるのに、実がきちんとした米を作っています。すごいと思います。わたしは、初めてのバケツ稲をやった、すずめには食べられないけれど、それはすずめが食べるほどおいしいお米ができたという気持ちです。



わたしは、ただの白いお米が好きです。おかずなしでも食べられます。そのお米の稲かりをして思ったことがあります。わたしたちはバケツで米作りをしたけれど、農家の人たちは田んぼでやっています。台風などが来て大変なことがあるのに、実がきちんとした米を作っています。すごいと思います。わたしは、初めてのバケツ稲をやった、すずめには食べられないけれど、それはすずめが食べるほどおいしいお米ができたという気持ちです。

## 10/15 (土) 茨城県自動車整備水戸支部 町へ30万円の寄附



茨城県自動車整備水戸支部（倉川勝支部長）より、町に30万円が寄附されました。同支部創立70周年記念式典において行われた贈呈式で、倉川支部長は「水戸支部創立70周年を迎え、平素より会員事業者が町政事業に関わっていることから、会員総意に基づいた記念事業として寄附を行った。まちづくりに役立てていただきたい。」と寄附に込めた思いを語りました。小林宣夫町長は「町へご寄附をいただき感謝申し上げますとともに、コロナ禍で町の財政も厳しい現状であるため、いただいた寄附金は、まちづくりのため有効に活用させていただきます。」と謝辞を述べました。

## 10/13 (木) 茨城町家庭排水対策協議会 未来の自然を守る環境学習会の実施



茨城町家庭排水対策協議会（藤枝栄子会長）は、巴川探検隊地域事業を実施しました。同事業では、毎年、巴川流域の水質保全をめざす活動を行っています。今年も、茨城県霞ヶ浦環境科学センターで、水環境について学ぶための環境学習会を実施し、水質調査や展示物の見学を行いました。当日は、葵小学校の4年生が参加し、生活排水が環境に与える影響や、未来の自然を守ることの意味について学びました。

## 10/16 (日) 見つめなおそう わたしたちの環境 第5回茨城町環境フェスティバル開催



茨城町環境フェスティバル実行委員会（照沼一美委員長）主催の、第5回茨城町環境フェスティバルが開催されました。会場となった茨城町立中央公民館大ホール及び野外出展ブース会場には多くの方が来場し、五箇公一氏による「外来生物はなぜ増えるのか？なぜ防除するのか？」を主題とした基調講演や「SDGs いまから自分にできること」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。また、野外では、環境団体や企業による活動展示や体験学習が行えるブースが多数出展し、会場は大いに賑わいました。

## 10/16 (日) 茨城町職工組合 学校施設でボランティア活動



茨城町職工組合（三塚敏彦組合長）は、小・中学校施設の修繕などを行う学校奉仕作業を実施しました。当日は、事前に各小・中学校から要望のあった、本棚やすのこなどの製作、生徒用机の天板や椅子の座板・背板交換などの修繕作業が行われました。この活動は、組合員が持っているさまざまな技術を活かし、町の児童・生徒のために役立てばと、同組合が昭和44年から毎年恒例行事として実施しているもので、各学校からは「今年も子どもたちのために実施していただき、大変感謝しております。」との声が上がっています。